

# 労働需要側から見た高卒就職

研究報告

『日本的高卒就職』の変容と模索

@JILPTフォーラム

2008/10/06(月) 14:00-14:20

筒井美紀(京都女子大学)



# 本報告の問いと構成

2007年はどういう労働需要だったか？

- (1) 「高学歴代替」の「戻り現象」
- (2) 「2つの循環的変動」
- (3) 根強い高卒選好：3つの理由と問題点

採用選考と学力の実態は如何？

- (1) 工業選好 / 学科不問
- (2) 出題レベルと合格レベル

まとめと論点提起



# 07年はどういう労働需要だったか？

## (1) 「高学歴代替」の「戻り現象」

- ・ JIL1997年調査で某企業が高卒採用中止、大卒(正社員 + 契約社員)に切り替え
- ・ しかし2007年調査では、高卒採用復活
  - ・ 企業の試行錯誤、一時点の評価の問題性
  - ・ 「失われた10年」期の主流のビジネスモデル
  - ・ 労働需給の如何による採用言説の変動
  - ・ 高等教育大衆化のインパクト

# 07年はどういう労働需要だったか？

## (2) 「2つの循環的変動」

- ・「景気」のみならず「従業員構成」
  - 必ずしも業況回復していないが高卒採用再開
- ・では今後は？

パターン	景気	従業員構成	具体例
	1	1	「いざなぎ超え」期、バブル期
	0	1	「いざなぎ超え」期
	1	0	バブル期
	0	0	バブル崩壊～2000年代初頭

# 07年はどういう労働需要だったか？

## (3) 根強い高卒選好: 3つの理由と問題点

「素直」

- 「言われたことしかできない」との相違は？

「安価」

- 前提に学歴別賃金, not 職種別賃金

- 米国では現業労働者は正社員でも時給ベース 均衡処遇実施にプラスの要素あり

「女性は長く安く」: 結婚退職前提

「キャリアパスを用意してもペイしない」

# 採用選考と学力の実態は如何？

## (1) 工業選好 / 学科不問

- ・ 技術職や設備工 工業選好
- ・ 直接工 学科不問

- 高卒需要縮小の中、学科不問は門戸広し  
ただし、「短期間で一人前」は要・再考  
疎外の問題は？  
その先のキャリアラダーはある？



# 採用選考と学力の実態は如何？

## (2) 出題レベルと合格レベル

- ・ 出題レベル: 中3 ~ 高1程度

「規制かんわ」、「 $- 2 \times (2 - 5) + 14 \div 7$ 」

「 $8/6 + 1/3 - 7/2$ 」、「 $X^2 - 6X + 9 = 0$ 」

「downの反対語を選べ」

- ・ 合格レベル: 半分解ければ可

入社後数年経った時点で問題が顕在化:  
資格試験(筆記)に不合格、書類が書けない

# まとめと論点提起

- 1) 「景気 = 0 / 従業員構成 = 0」のパターン  
現在生じつつある？ 「採り疲れ」「教え疲れ」  
間隔が空く求人への対処が不可欠  
「教育的」である方が結果的にはペイする
- 2) キャリア形成弱者への対処  
女性、学科不問の直接工
- 3) 基礎学力の涵養  
「成績より、やる気・熱意」はレトリック





# まとめと論点提起

能力・キャリア形成の責任は何処に？

「個人主導の能力形成」が「自己責任論」へと陥落しないことは重要

それは「官」がやること？（「官民」の不毛性）

「官」と「公（公共性）」はどう違う？

「民」に「公」の要素は無い（無くてよい）？

従来の「線引き（＝常識）」再検討。

例えば、米国の地域の取り組み参照。



# キャリアラダー とは何か

ジョーン・フィッツジェラルド著

筒井美紀 阿部真大 居郷至伸 訳

キャリアラダーとは何か

Joan Fitzgerald  
MOVING UP  
IN THE NEW ECONOMY

Career Ladders for U.S. Workers, Japan Style

フィッツジェラルド, ジョーン【著】 筒井美紀 阿部真大 居郷至伸【訳】

勁草書房、2008年9月刊

## 【ご参考】

働きすぎる正社員でも使い捨ての非正社員でもない、第三の道を進むには？

反・新自由主義も根強いアメリカに、迷走する日本の就職支援政策のあるべき針路を探る。訳者による日本の文脈を踏まえた解説・論点提起付き。

